

稱讃

二〇二二年五月二日発行



まつだい どうぞく こんせ
しかるに末代の道俗、近世の
しゅうし じしやうゆいしん しず じやうど
宗師、自性唯心に沈みて浄土
しんしやう へん じやうさん じしん
の真証を貶す、定散の自心に
まど こんこう しんしん くら
迷いて金剛の真心に昏し。

『教行信証 信文類 序』より

下の写真は、お釈迦さまのお誕生日 灌
仏会・花まつり）のお荘厳です。

右脇に写っているのは、前日に住職が
作った「誕生仏」です。誕生仏といえは、
お釈迦さまがお生まれになって、上半身は
裸で、右手の人差し指を天（上）に左手の
人差し指を地（下）に指さしているお姿を
思い浮かべることであります。

住職は、日本風の僧侶を真似て、布袍は
赤く染めて、五條袈裟を掛けてみました。



COVID-19禍中 お見舞い申し上げます。

発行 浄土真宗本願寺派 稱讃 寺

〒二二一〇〇七五

東京都足立区一ツ家三丁目五番二〇号

TEL 〇三ー五二四二ー二〇二五

FAX 〇三ー五二四二ー二〇二六

H P shousanji . com

もうお気づきかと思いますが、袈裟の掛
け方が間違っています。色を塗る段階で気
づきまして、やり直すのが面倒になって、
そのままにしまいました。

袈裟の掛け違いから ボタンの掛け違
え」の言葉を思い出しました。

朝の挨拶運動に出かけるとき、ウインド
ブレーカーを着て、ボタンを留めながら玄
関を出ると、たまに最後にボタンがずれて
いることに気づきます。気づけば、やり直
しできるのですが、これまで、どれだけ、
ボタンの掛け違えをやってきたことかと思
います。掛け違えしていることさえも気づ
かずに、否、見過ごして、自分を正当化し
ているのだらうと思います。その方が生き
やすいと思っているのでしょうか。

カウンセラーの方は、悩み苦しんでいる
クライアントのボタンの掛け違えを、一緒
に探していくのだそうです。悩み苦しむ人
ほど、ボタンの掛け違いを正直に見ようと
されているのでしょうか。

阿弥陀さまのご本願を味わうと言いな
がら、自性唯心」に沈んでいないかなあ？

推し活」って？

推し活のススメ 読売新聞 ①②抜粋

推し活では応援対象を「推し」と呼び、深くハマることを「沼に落ちる」という。

推し活動をしている」と答えたのは十代で37.7%、二十代で26.3%を占めた。

「推し」という言葉が注目され始めたのは約十年前のこと。大類にとって『推し』とは何なのか、イケメン俳優オタクの僕が本気出して考えてみた」の著者の横川良昭さんは「推したいメンバー『推しメン』の略語。AKB48の飛躍で二〇一〇年頃から知られるようになった」と話す。

それまではアイドルや漫画好きの人は「オタク」と呼ばれることが多く、暗いイメージだったが、価値観の多様化でポジティブなイメージになった」と横川さん。情報化の進展で好みの人やモノを見つけやすくなり、対象もスターからユーチューバー、ゲームのキャラクターなどに広がった。

「推し」といったカジュアルな言葉に促され、気軽に応援できる雰囲気。ハマった後もSNSなどを通じて推しと交流しやすくなり、「沼」から抜け出せない人も増えたという。

ここ数年で急速に盛り上がりを見せており、横川さんは「アイドルを応援する女子

高生を描いた『推し、燃ゆ』が今年芥川賞を受賞したことは推し活が社会的に認知された象徴」と語る。

結婚などが幸せとは限らない。幸せは人それぞれで推し活に生きる意味を見いだす人が増えている」

推し活アナリストで電通（東京）の猿渡輝也さんは力説する。個性が重んじられる中、好きな人やモノのアピールはキャラ付け、自己表現になるという。

最近の推し活の特徴は、従来のファンよりも積極的に推しを広報し、有名にしようとするところにある。グッズを大量に買い、SNSで推しの関連用語をトレンド入りさせ、推しへのメッセージを新聞広告に出すこともある。猿渡さんは「推しが注目されることで自分たちも世間から承認された気になるのでは」とみる。

女性アイドルグループ「泡沫パーティーズ」ファン石垣勝正さんも推しの「布教」に余念がない。ライブ会場で別グループのファンに泡沫パーティーズのライブも見よう声をかけます」と話す。

多様性が強調される一方、ネットなどで同調圧力が高まり窮屈な時代でもある。他人の意見に惑わされず、自己確立の手段として推し活に夢中になる人が増えているのかもしれない。

推し活をする人の行動のベースに「徳を積む」という考えがある。コンサートで

いい席が当たるように」「推しにふさわしい人間になりたい」といった願いのため、日々善行を積むことを指す。

牧さんは水溜まりボンドが二〇一九年の台風十五号直後に千葉県でイベントを行った際、5万円程度寄付した。今後、イベントのチケットが当選するなどいいことがあるかなと思って」。水溜まりボンドの一人が同県出身だったことも、「社会貢献」を後押しした。

戦隊ヒーローが好きな佐藤華奏さんも車で積極的に席を譲る。職場や家でイライラしても「我慢」つかく貯めた徳がなくなる」と怒りを抑えています」

ライブチケットの当落を待つ間は朝早く出勤したり、コンビニでお釣りを募金箱に入れたりします」。また、丁寧な暮らしが徳を積むことにつながると信じている人もいる。

「一方トラブルもある。グッズ購入や韓国旅行などに数十万円使ってしまった、家賃の支払いが危うくなった」「コロナ禍で推しの舞台を見る、見ないで友人ともめて不仲になった」「ファンが殺到して、新幹線の出発が遅れた」友人が同じ推しのライブに何度も行っているのが気になる」など他人と競わず、自分の立ち位置で応援し自分の考えを他人に強要したり、制限なく推し活にお金を使ったりしないように気を付けたいものです。

また問ふ。字訓のごとき、論主（天親）の意、三をもつて一とせる義、その理しかるべしといへども、愚悪の衆生のために阿弥陀如来すでに三心の願を發したまへり。いかに思念せんや。

答ふ。仏意測りがたし。しかりといへども、ひそかにこの心を推するに、一切の群生海、無始よりこのかた乃至今日今時に至るまで、穢惡汚染にして清浄の心なし、虚仮諂偽にして真実の心なし。ここをもつて如来、一切苦悩の衆生海を悲憫して、不可思議兆載永劫において、菩薩の行を行じたまひしとき、三業の所修、一念一刹那も清浄ならざることなし、真心ならざることなし。如来、清浄の真心をもつて、円融無碍不可思議ふかしうふかせつ。如来の至心をもつて、所有の一切煩惱惡業邪智の群生海に回施したまへり。すなはちこれ利他の真心を彰す。ゆゑに疑蓋雜はることなし。この至心はすなはちこれ至徳の尊号をその体とせるなり。

教行信証 信文類』より

推」には、①前へ押し出す。押し動かす。②押し上げる。選んで進める。③移し量なるときは、自分の考えというよりは、阿弥陀さまのお心を、だだ、ほればれと、親鸞聖人は、ひそかにおもんみれば」意味がありそうです。

無料アプリ(稱讃寺カメラ)を取得して、いつでも、どこでも 参拝できます。「iDMSSPlus」が「iDMSSLite」より画像が鮮明です。

トピック

※機種によっては、Liteでも鮮明な場合もあります。



iDMSSLite



iDMSSPlus

ほれぼれと

いい季節を迎えました。
おかわりありませんか？

五月は、子どもの日、母の日がありました。

そして二十一日は親鸞聖人のお誕生日です。

今日は母と子のお話しです。

まず、子どもの「予」という字、もとの形は、丸の下に棒を一本縦に引きます。それが頭と足です。首のあたりから両手を左右の上に伸ばします。その形が変化して、いまの「予」という字になりました。

足が一本なのは、おしめに包まれた赤ちゃんの姿です。

上に伸ばした両手が命誕生の喜びを顕します。

次に母という字ですが、二つの点々はお乳を顕しています。

あるいは両手で赤ちゃんを抱いているかたちだともいいいます。

字引によりますと、母という字には「慕わしい」という意味があります。

母」と「予」、簡単な文字ですが、もとの形を眺めたり書いたりしていますと、命の暖かさが感じられます。

おしめが取れて、自分で歩けるようになるとまるで自分一人の命、と言った大きな顔をいたします。おしめに包まれたまま、母に向かって両手を出した姿は、もと、母の方から呼び続けに呼ばれたからであります。

親鸞聖人はこのところを、つまりところ、阿弥陀如来の救いに預かるためには、すべての計らいをやめて、ただほれぼれと弥陀の御恩の深きことを思い浮かべるとよい」と言われます。

そうすれば、ひとりにて、南無阿弥陀仏と、お念仏も称えられるようになる」との仰せです。

ただほれぼれと、弥陀の御恩の深重なること、つねはおもひただしまゐらすべし。しかれば念仏も申され候ふ。」と。

これは『歎異抄』第十六節のお言葉です。

あたたかく
大きないのちにいだかれて』

清水 正宣師 著

2021(令和3)年度 讃迎会年会費 (稱讃寺 門信徒会)のお知らせ

COVID-19の禍中、なかなかお寺にお参りできない状況でございますが、引き続き、お寺のこともお心に留めておいていただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

年会費 ￥6,000-(振込手数料別)

振込先 ①城北信用金庫 一ツ家支店 店番 049 口座番号 普通 6176051
名義 浄土真宗本願寺派 稱讃寺教会 代表 北村信也

②ゆうちょ銀行 店名 四四八(読み ヨンヨンハチ) 店番 448 口座番号 普通 2374851
名義 北村信也

※JPに口座のない方は、同封の「電信振込請求書」をお使いください。但し、手数料が550円掛かります

親鸞聖人御誕生八五〇年
立教開宗八〇〇年 慶讃法要企画

親鸞聖人を知ろう

親鸞聖人と東国の人々』

今井雅晴氏

親鸞聖人の時代と私たちの時代

以上（二〇号掲載）のいくつかの親鸞聖人のイメージを念頭に置きながら、ではこれからどのような親鸞聖人のイメージを考えたらよいでしょうか。これは非常に重要なことであると思います。私たちには次の世代にそのイメージを伝えていく義務があります。

私たち 正確には、私たちの先輩の方々は、というべきでしょうが）は昭和三十年代、親鸞聖人七〇〇回御遠忌（大遠忌）をめざし、必死に親鸞聖人のことを勉強しました。伝記についても、教学、歴史学をはじめとする各分野で研究がなされました。その結果作り上げたイメージは大切にされ今日に至っています。そのことについての問題点は、今までに述べたとおりです。いったん作り上げられたイメージは、なかなか変わらないのです。変えられないのです。私たちが今度の七五〇回忌に向けて勉強し、学んで作り上げる親鸞聖人のイメージは、おそらくこれから数十年間続くことになるでしょう。責任は重大だといわねばなりません。

では、どうすればよいでしょうか。それは、まず

第一に、親鸞聖人の生きた時代と私たちが生きている現代とを混同しないことです。親鸞聖人と私たちとは、同じ日本列島に住んでいます。時代でいえば親鸞聖人は鎌倉時代、私たちは現代です。親鸞聖人はその生きた鎌倉時代の社会から生じた問題、課題の解決に努力され、その解決方法を示されたのです。私たちは、私たちが生きる現代社会から生じる問題、課題の解決に向けて努力しているのです。

私たちの社会にはパソコンや携帯電話があつて非常に便利です。しかし、その存在による弊害も多方面にわたっており、重大な社会問題になっています。皆様非常によくお分かりのところだと思います。親鸞聖人のころには、いうまでもなくパソコンや携帯電話はありませんでした。親鸞聖人のころと現代とは全部が異なるとは申しません。しかし少なくとも異なるところがあったのだと、私たちは意識しなければなりません。私たちは親鸞聖人が活躍された時代背景を知るように努めなければなりません。その上で親鸞聖人から学んでいくべきでしょう。これはそれほど難しいことではありません。

時代背景とそれを見るためにとるべき視点

親鸞聖人はその九十年の一生のなかで、毎日のどのような家庭的・社会的問題に出会い、対処しようとされたのでしょうか。広くいえば中世、狭くいえば鎌倉時代の社会とはどのような社会であったのでしょうか。

それを見るためには、鎌倉時代の社会的環境や習慣、鎌倉時代の人々の考え方や常識、親子関係や家庭のあり方などを知る必要があります。それも二〇〇七年の現在から見て、数十年前の学門成果によるのではなく、つい最近までに明らかにされた、新しい研究成果で考える必要があります。

親鸞聖人の夫婦関係にしても、そうです。夫婦のあり方は、現代でこそ一夫一婦制が当然のことと

なっています。結婚したら役所に届け出なければなりません。そこで男女二人の戸籍が一つになります。それが通常、入籍といわれていることです。

しかし、鎌倉時代には入籍はありません。そもそも、戸籍はありません。例外はあるにしても、男性が女性の家に通うことで結婚生活が成り立ちます。複数の女性の家に通うことも、当たり前であり得たのです。逆に、複数の男性が一人の女性の家に通うこともありました。女性は、今日考えるよりも、ずっと自立していました。

よく、親鸞聖人の妻は何人であつたかということが問題になります。一人でなければおかしい、困るという意見をお持ちの方も依然としておられます。しかし、そんな心配はいらないのです。妻は複数存在しようが、しまいが、そんなことは問題にならないのが鎌倉時代の社会だったのです。現代の一夫一婦制の常識で、鎌倉時代の常識の上で生きた親鸞聖人のことを判断するから、親鸞聖人のことを勘違いしてしまうのです。

もう一つ、私たちが考慮しなければならないことがあります。それは、たとえばこのようなことです。それは過去の時代において、すなわち親鸞聖人の一生のことで勘当、勘当と騒ぎまわっても、現代の私たちにはほとんど意味がない、ということ。親鸞聖人の一生を見渡して、私たちはどこに重点を置けばよいのか、何を学べばよいのか、数十年前とは変わるところがある、ということ。歴史は変わります。

私たちが学校の歴史の教科書を見て、ああ、そうなのか、日本の、世界の歴史はこうだったのかと思つてそれをそのまま受け入れてしまします。しかし、研究が進み、社会の常識が異なると、歴史教科書の内容で変わる部分が出てきます。えっ、そのなか、過去の歴史は変わらないじゃないか、と思われるでしょう。しかし、歴史は変わるのです。早い話、第二次大戦前の教科書には神話は事実のこととして記述されていました。数十

年以上たった現在、いったい日本人の何人が神話はそのまま事実であったと信じているでしょうか。

江戸幕府を作った徳川家康だって、現在ではすぐれた人物だったと評価されています。それ以前は、

あくらつ

豊臣氏の政権を悪辣な手段をめぐらして奪った、嫌なタヌキ親爺、という評価が一般の家康評だったのです。しかしその評価は昭和三十年代に山岡荘八という小説家が『徳川家康』という大長編小説を書いてから変わったのです。この小説によって、歴史が変わったのです。昭和三十年代は、第二次大戦後の混乱期をようやく脱し、それからの日本をどのように運営していくか、大きな視野と実行力を持った指導者が待望された時代でした。その社会風潮のなかで、江戸幕府二百数十年の基礎を築いた徳川家康が見なおされたということでしょう。

現代社会は私たちに何を要請しているのでしょうか。真宗に何を求めているのでしょうか。まず第一に、人間関係の回復でしょう。夫婦関係、親子関係、友人関係、会社での人間関係。真宗はそれに応えなければなりません。それなら、親鸞聖人はご自分の夫婦関係をどのようにされていたのか。子どもたちとの関係はどうだったのか。門弟の方々との関係はどうだったのか。調べなおし、学びなおさなければなりません。

妻・恵信尼さまとの関係など、最初から最後まですばらしい、よいご夫婦だったなどときれいごとをいわずに、お互いにどのような工夫やご苦労があったのかという観点で見てこそ、今日の私たちの導きになり得るのではないのでしょうか。

私たちは歴史から学ばなければなりません。親鸞聖人から学ぶというのも、広くいえばそのようなことです。そして先ほど歴史が変わると申しあげたのは、過去の事実が変わるという意味ではありません。そんなことはあり得ません。そうではなくて、後世の私たちの視点を変えることによって、歴史がかわって見えるのだということです。そしてそれは必

要なことなのです。そうでなければ歴史から学ぶ意味がありません。数十年前、あるいはそれ以前の人たちとまったく同じ視点で歴史を見ているも歴史から学ぶということにはなりません。私たちは現代社会が求めている視点で歴史から学び、親鸞聖人から学ぶべきだと思います。

では、親鸞聖人はどのような一生を送られたのでしょうか。そのなかでも東国時代の親鸞聖人のことについて見ていきたいと思います。鎌倉時代の東国という社会のなかで、親鸞聖人はどのような人々を相手にして教えを説かれたのか、どのような人間関係を乗り越えていかれたのか、ということです。

東国の人々と親鸞聖人

東国の門弟

親鸞聖人は四十二歳のときに東国に來られました。それから二十年近く念仏布教にあたられ、また『教行信証』として結実した著書をはば完成されました。そして六十歳のころに京都に帰られたと考えられます。

ちなみに、東国と関東ということばはまったく同じ意味ではありません。東国というのとは、古代では畿内の東の地方という意味でしたから、だいたい滋賀県より東の地域をさしました。それがだんだん狭くなっていったら、親鸞聖人のころは現在の関東地方から東の地域をさしていました。東北地方の南部の方も入っている気配です。関東というのとは、正確には関東の東とい

う意味です。実際には、奈良・京都から東国へ行く正統な道である東山道の、碓氷峠から東です。渭水峠は長野県と群馬県との境にあります。江戸時代になると、関東というのとは東海道の箱根の関所から東の地方、という意味になりました。

しかし鎌倉時代には、関東というのは現在の関東地方といったような地方名ではありませんでした。鎌倉時代に関東といえは、鎌倉幕府のことを意味したのです。源頼朝らの鎌倉將軍は、鎌倉殿と称しました。

では、現在の関東地方にあたる地域を意味することばはなかったのでしょうか。ありました。それは「坂東」ということばでした。坂東こそ、現在の関東地方を意味することばだったのです。本稿では関東地方に東北地方南部も含めているという意味をこめて、東国ということばを使っています。

約十八年の東国生活で、親鸞聖人は多くの人たちと接しました。多くの門弟も作りました。『二十四輩牒』には、親鸞聖人には二十四人の重要な門弟がいたとして、それぞれの名前と住所とが記されています。試みに最初の十人をあげれば、次のようになっています。

大洗願入寺本

しょうしんおんぼう

性信御房

しんぶつのおんぼう

真仏御房

しやうき とうだのしょうよこそね

下総国豊田庄横曾根

しもつけ おおうちのしょうたかだ

下野国大内庄高田

順信御房 じゆんしん ひたち とみた
 常陸国富田 じやうねん みなみのしょう
 乗然御房 しんぎやう おおかたにいつつみ
 常陸国南庄
 信楽御房 しんぎやう しもうさかみさしまいのやなぎ
 下総国大方新堤
 成然御房 せいねん むさしのだ
 下総上幸島市野柳
 西念御房 しやうしやう 武蔵野田
 性証御房 しやうしやう しもつけいぬかいたかやなぎ
 下野戌飼高柳
 善性御房 ぜんしやう とよだいいぬま
 下総国豊田飯沼
 是信御房 ぜしん おうしやうわがのこおり
 奥州和賀郡

ほぼ定説となつてゐるように、門弟二十
 四人の設定は覚如が行つたもので、本願寺
 を頂点とする信州教団形成という目的に
 よつたもののようです。

二十四輩という四文字も、もとは二十余
 輩と記したようです。同じく覚如の『改邪
 鈔』に、

おおよす本願寺の聖人御門弟のうちに
 をいて二十余輩の流々の学者達、祖
 師の御口伝にあらざるところを禁制し
 自由の妄義を停廃あるべきものをや

とある文が語源になつてゐると考えられま

す。文中、「自由」というのは勝手きまま
 という意味です。「自由」というのは、日
 本人は明治時代に入るまで悪い意味で使つ
 ていました。ところが明治時代に入り、英
 語のリバティーということばの訳語とし
 て、よい意味に変えて使つて「自由」を
 使つてしまいました。

山伏弁円

『二十四輩牒』の第十八番目に、次の記
 事があります。

明法御房跡 証信 久慈西檜原

これは、明法房の遺産（道場など）を
 受け継いだ証信房。その証信は常陸国久慈
 西郡の檜原に住んでゐる」という意味で
 す。この明法房が、もと親鸞聖人に逆らつ
 たとして知られてゐる山伏弁円の後半生の
 姿なのです。『親鸞伝絵』に親鸞聖人と
 争つた弁円のことが次のように記されてい
 ます。

聖人常陸国にして、専修念仏の義をひ
 ろめ給ふに、中略）一人の僧 山臥
 ありて、動ば、仏法に怨をな

しつづ、結句害心を挿んで、聖人を
 時々うかがひたてまつる。中略）板
 敷山（中略）にして度々相待といへど
 も、さらに其の節をとげず、中略）
 禅室に行て尋申に、聖人左右なく出
 会たまひにけり。すなわち尊顔にむか
 ひたてまつるに、害心忽に消滅して
 剰 後悔の涙禁じがたし。

弁円は山伏でした。山伏というのは、深
 い山岳には靈氣があり、それを身につけ祈
 禱をすれば病氣回復、安産、畠の病虫害の
 追い出し、金儲けなどに大きな働きをする
 ことができる、その能力によって人々を救
 うことができる、という考えに基づいて修
 行した人々のことです。山のなかで起き伏
 しをするので、山伏または山臥といったの
 です。その修行を修験道といひました。修
 行中の人あるいは修行をなさつたとされた
 人を、修験者といひました。単に修験と
 いつてしまつてゐる場合もあります。真言
 宗の密教と日本古来の山岳信仰とが結びつ
 いて、一種独特の信仰が生まれたのです。

※新型コロナウイルス感染禍で、今も修験
 者の祈祷に頼るのは、何故なんでしょうね

稱讃寺 行事予定

二〇二二年 五月の行事予定

二日 日曜礼拝 午前十時
六日 木 日ののん法話会 午後二時
九日 日曜礼拝 午前十時
六日 日曜礼拝 午前十時
日ののん法話会 午後一時
兼 親鸞聖人降誕会
二三日 日曜礼拝 午前十時
二六日 水 日ののん法話会 午後二時
三〇日 日曜礼拝 午前十時
※晨朝のおつとめ 毎日午前七時

いのちの願いによって

ねが

う

あなたは生まれた

二〇二二年 心のともしび「五月カレンダー」より

二〇二二年 六月の行事予定

六日 日曜礼拝 午前十時
日ののん法話会 午後二時
三日 日曜礼拝 午前十時
六日 水 日ののん法話会 午後二時
二〇日 日曜礼拝 午前十時
二六日 土 日ののん法話会 午後二時
二七日 日曜礼拝 午前十時

二〇二二年 七月の行事予定

四日 日曜礼拝 午前十時
六日 水 日ののん法話会 午後二時
二日 日曜礼拝 午前十時
六日 金 日ののん法話会 午後二時
八日 日曜礼拝 午前十時
二五日 日曜礼拝 午前十時
二六日 月 日ののん法話会 午後二時

編集後記

私などは、つい、阿弥陀さまのお心というよりは、自分の思いを推し進めがち（押しつけ）であります。

親鸞聖人は現代の「推し活」で言うならば、
「阿弥陀さま」（誠なるかな、^{※1}撰取不捨の真

言、^{※2}超世希有の正法、聞思して、遅慮することなかれ」^{※2}「教行信証 総序」を推して、ただ惚れ惚れと、味わい、阿弥陀さまの大きな智慧と慈悲を縁のある方々に伝え（布教）なさったのでありましょう。

ならば、現代の私たち、折角、浄土真宗という教えに出遇えたのですから、親鸞聖人を自身の「推し」として、「推し活」をしてみても如何でしょうか。

皆さんが、お一人おひとり、親鸞聖人がお好きになられるように、私自身、努めて参りたいと思います。

※1 撰取不捨の真言

必ず救い、決して見捨てない」阿弥陀さまのお心とおはたらきのことであり、南無阿弥陀仏」各号「念仏」真言「弥陀の呼び声」一つで彰わしています。

※2 超世希有の正法

必ず仏になると願われた「いのち」をもつて、あなたは「この世に生まれた」という覆ることのない真理を言います。